

南米ウユニ湖に殺到 ボリビア、2年で入国者が倍増

【共同】南米ボリビアのアンデス高地にあるウユニ塩湖を訪れる日本人観光客が急増している。毎年1~3月ごろの雨期になるとうつすと水がたまり、雲や人を映す様子が「天空の鏡」として評判になり、ボリビアに入国した日本人は2年でほぼ倍増。雨期は本来オフシーズンで、地球の反対側のへき地にもかかわらず、訪問客の大半が日本人という異様な状況だ。



標高3700mのアンデスに浮かぶ雨期のウユニ塩湖=2月(共同)

日本人

「小」を使つた言葉

「アラサー」じゃなく「小三十」でしょ

【共同】上方落語の重鎮だった故・2代目露の五郎兵衛さん。露の前は桂小春圓治を名乗っていた。そのころ「私はこの小春圓治という名前が大好きでねえ」と話していたのを覚えてる。同感だつた。有名な「春圓治」という名前は華麗で派手。これに「小」が付くと、マイナ-感は否めないが、どうだろう、小粹で小じやれた雰囲気は小春圓治の方に軍配が上がるだろか。ま、五郎兵衛さんは、実際はそういう風貌でも話し方でもなく、むしろ泥くさかったが。

今、「小粹で小じやれた」と書いたが、この言葉も「粹でしゃれた」人も「粹でしゃれ」といふもつと粹でしゃれていると思う。そんなことを考えながら、人の話を聞き本を読んでいると日本語にはこの「小」を使つた言葉が何と多いことか。体の部分で言えば、首をかしげてもらつた方が気分がいいし、人によっては色



肺がん「10年で60%増」

【北京共同】中国で広

範囲で発生している有害物質を含んだ濃霧に関する調査結果によると、中国の研究者らが7

日までに人体に与える影

響について「肺がん患者は10年で60%増加した」と指摘。呼吸するた

めに污染物質が血液に流

入するため「呼吸器系に

よる深刻な健康被害の

実態が浮き彫りになつ

た」と話した。

今年の汚染ではなく

とも全人口の5割弱の約

6億人が影響を受けてい

る。中国当局は抜本的な

年後に肺がんによる死

亡

を示しておら

る。中国誌によると、北京大公衛生院の潘小川

教授は今年の濃霧を念頭に

に「深刻な汚染の7、8

M2・5」が原因で健康

を損ない死亡した人は計226日間だったこ

とが判明。専門家は「日

を定めた」と

ある。中国は2009年に環境基準を示しておら

る。中国は抜本的な

年後に肺がんによる死

亡

を示しておら

